

バチルス・サブチリス由来のアセチルキシランエステラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1534

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、アセチルキシランエステラーゼ（EC 3.1.1.72）は、キシランおよびキシロオリゴ糖の脱アセチル化という化学反応を触媒する酵素です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。

別名 アセチルキシランエステラーゼ; EC 3.1.1.72; 188959-24-2; 9000-82-2

製品情報

種	バチルス・サブチリス
由来	大腸菌
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.1.1.72
CAS登録番号	188959-24-2;9000-82-2
分子量	28.0 kDa
純度	>SDS-PAGEによる評価で90%
濃度	1 mg/mL
最適pH	8.5
最適温度	35 °C
特異性	7-アミノセファロスポラン酸、セファロスポリンC、p-ニトロフェニルアセテート、b-ナフチルアセテート、グルコースペンタアセテート、アセチル化キシラン

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で発送されますが、-20 °Cで保存する必要があります。